

# 「市民ドック」の結果を報告します

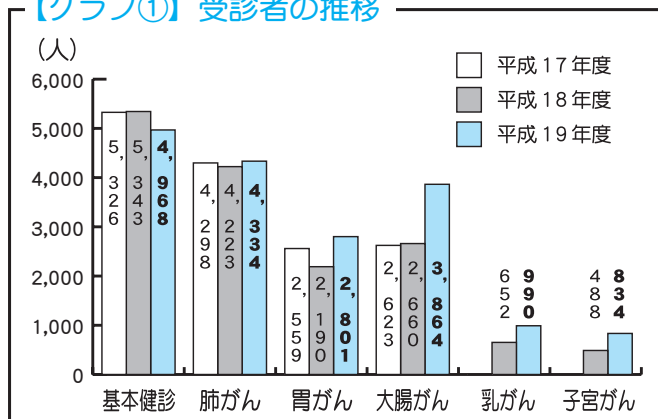
平成19年度から、1日ですべての健診が受けられる「市民ドック」を始め、5月から12月の間に市内4会場で18日間実施しました。その結果をまとめましたので報告します。



## 受診の状況

受診者は延べ5,556人で、基本健診以外はすべての健診で受診者が増えました。(グラフ①参照)

【グラフ①】 受診者の推移



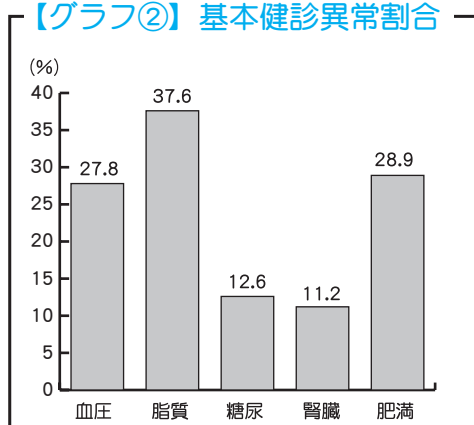
## 基本健診の結果

基本健診で実施した検査項目ごとの異常者割合を見ると、脂質異常者が一番多く37.6%に異常があるという結果でした。次いで肥満(腹囲異常)と診断されたのは28.9%でした。

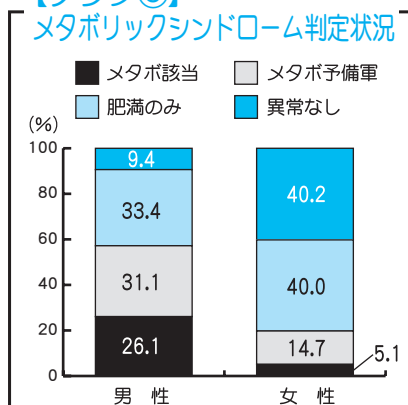
(グラフ②参照)

内臓脂肪型肥満に加えて、高血圧、高血圧、脂質異常のうち2つ以上あてはまる状態にある「メタボリックシンドローム」(内臓脂肪症候群)の該当者は、40~74歳の受診者のうち男性26.1%、女性5.1%でした。予備群も含めると、男性の2人に1人、女性の5人に1人がメタボリックシンドロームの危険があるという結果でした。この結果は、国の調査結果と同様の傾向でした。(グラフ③参照)

【グラフ②】 基本健診異常割合



【グラフ③】  
メタボリックシンドローム判定状況



## がん検診結果

がん検診(肺・胃・大腸がん)を基本健診とセット化した基本コースを受診した方のうち、セットした健診項目すべてを受けた方の割合は62.1%でした。平成18年度に比べて約2倍に増えています。

平成18年度以前の健診受診者数は横ばい状態で、受診者は固定化していました。しかし、平成19年度からセット化したことで、受診者数が増えたと考えられます。

また、乳がん検診は前年度の約1.5倍、子宮がん検診は約1.7倍となりました。市民ドックでは、乳がん、子宮がん検診を市民ドックと同日に受診する「レディースデー」を設け、健診が受けやすくなったことが要因と考えられます。